

ワンデーセミナー開催記録

セミナータイトル	シリーズ 41 「今後の ITS 研究の進むべき方向性について」	
開催日時	平成 16 年 5 月 25 日 (火)	9 : 30 ~ 16:50
開催場所	東京大学武田先端知ビル武田ホール	
実施組織 (研究小委員会名など)	土木学会 (担当 : ITS 社会に向けた交通事故分析に関する研究小委員会, 道路利用の効率化および環境負荷軽減のための ITS 研究小委員会)	
参加者数	総参加者数 140 名	
	内訳 : ・ 大学関係者 (60 名) ・ 行政関係者 (20 名) ・ 実務者 (コンサルタント等) (40 名)	・ マスコミ (0 名) ・ 学生 (20 名) ・ その他 (0 名)
概要	新たな道路交通施策として ITS 技術が展開され始め, 道路交通対策の考え方を変革しつつある. 本セミナーでは, 土木学会土木計画学研究委員会に設置された 2 つの研究小委員会で平成 13 年度からの 3 カ年に渡って進めてきた研究成果を総括し, 今後の ITS 研究の方向性について討議する. (以下, 当日のプログラム) 09:30-09:40 開会:森地茂(政策研究大学院大), 宮地淳夫(国土交通省 ITS 推進室) 09:40-10:05 道路利用の効率化および環境負荷軽減のための ITS 研究小委員会総括:内山久雄(東京理科大) 10:05-10:30 ITS 社会に向けた交通事故分析に関する研究小委員会総括:家田仁(東京大) 10:30-12:00 パネルディスカッション「今後の ITS 研究の方向性」, コーディネータ:清水哲夫(東京大), パネリスト:家田仁(東京大)・石田東生(筑波大)・山中英生(徳島大)・宮地淳夫(国土交通省 ITS 推進室)・吉田正(鹿島建設) 12:00-13:30 休憩 13:30-13:50 ITS 時代の道路整備基準:喜多秀行(鳥取大) 13:50-14:10 環境に着目した ITS の効果分析石田東生(筑波大) 14:10-14:30 ITS を活用したロジスティックス:谷口栄一(京都大) 14:30-14:50 事故危険性評価を目的とした交通流解析方法:中村文彦(横浜国大) 14:50-15:00 休憩 15:00-15:20 需要に着目した ITS の効果分析:朝倉康夫(神戸大) 15:20-15:40 安全対策の導入方法:西井和夫(山梨大) 15:40-16:00 個別地点を対象とした安全評価:山中英生(徳島大) 16:00-16:20 地域 ITS の展開:藤原章正(広島大) 16:20-16:40 冬期の安全性確保策:浜岡秀勝(秋田大) 16:40-16:50 閉会:山田晴利(国土技術政策総合研究所高度情報化研究センター)	
総括	過去 3 カ年の活動について, ITS の研究者の増加とテーマの多様化が達成されたが, 実務との連携が不十分であったと総括した. また, パネルディスカッションにおいて, ITS の本格展開に向けて基礎研究だけでなく即地的かつ実践的な研究と研究領域の重点化が必要であることを確認した.	